

社会情勢や周辺環境の変化等を踏まえ、東郷湖羽合臨海公園が目指す今後の方向性を検討
(第1回：8月1日(月)開催)

＜パークビジョン検討会＞

○今後10年程度を見据えた公園のビジョンを検討

公園の持続可能な維持・発展の方向性について検討を行い、地域の方に親しまれ、魅力ある公園を目指す。

【検討のポイント(例)】

- 燕趙園の無料化を含めた施設のあり方
- ハワイ夢広場、スケートパーク等の有効活用・機能転換
- 宇野エリアキャンプ場の有効活用・民間活力の導入
- 木陰のある空間への転換(植栽、ベンチ・東屋等の適正配置)
- 各エリア・施設に即した管理(PFI導入、地元への施設の譲渡を含む)

～検討会メンバー～

行政、観光事業者、経済団体、高齢者・子ども関係団体、地元関係者ほか

～スケジュール(予定)～

＜令和4年度中＞

- ・公園の現状等を分析
- ・パークビジョン(素案)

＜令和5年度中＞

- ・パークビジョン策定→R6.4月次期指定管理

＜公園をとりまく環境変化＞

・東郷湖羽合臨海公園の現状

公園施設の老朽化の進行、利用者の伸び悩み

・社会情勢、周辺環境の変化

少子高齢化と人口減少、コロナ禍における生活スタイル、管理運営手法の多様化・民との連携、新たな施設の建設、交通アクセス など

